

別紙

前年度の温室効果ガスの排出の量及び排出削減計画に基づき実施した措置の状況

氏名	(法人にあっては名称) ボーンズ株式会社		住所	(法人にあっては主たる事業所の所在地) 〒 540-0011 大阪府中央区農人橋1丁目1番22号 大江ビル4階	
本票作成	部署名： 管理本部 CSR推進課				
主たる業種	分類コード	28	業種名： 電子部品・デバイス・電子回路製造業		
事業の概要	コネクタ製品、光ピックアップ部品、ミニブレーカー製品の製造 敷地内に第一・第二・組立の3工場から成り、従業員：400名(7月現在)				
県内の主な工場等	番号	工場等の名称		所在地	
	①	岡山工場		久米郡美咲町打穴西537	
特定事業者の該当要件	<input checked="" type="checkbox"/> ①燃料等原油換算1,500kℓ以上 <input type="checkbox"/> ②バス・トラック100台、タクシー250台以上 <input type="checkbox"/> ③CO <sub>2</sub> 換算3,000t以上 (●工場等の数 1 所 ●車両台数 (②該当の場合) 台)				

温室効果ガス排出量	基準年度(平成 26 年度)	(平成 30 )年度排出量	目標年度(令和 元 年度)
	11,575 t CO <sub>2</sub>	9,305 t CO <sub>2</sub>	10,996 t CO <sub>2</sub>
主な工場等の排出量	番号	工場等の名称	(平成 30 )年度排出量
	①	岡山工場	9,305 t CO <sub>2</sub>
			t CO <sub>2</sub>
			t CO <sub>2</sub>
			t CO <sub>2</sub>

削減目標の達成状況	計画期間： 平成 27 年度 ～ 令和 元 年度 ( 5 箇年度)			
	<input type="checkbox"/> 総排出量基準	( 30 )年度削減実績	目標削減率	目標達成
	<input checked="" type="checkbox"/> 原単位基準	△ 65.3 %	5.0 %	<input type="checkbox"/> 達成 <input checked="" type="checkbox"/> 未達

(原単位基準の削減目標を選択している場合に記入)	温室効果ガスの排出量と密接な関係をもつ値の内容 生産個数 (5,004.93百万個)	原単位当たり排出量		
		基準年度	( 30 )年度	目標年度
		1.249 t CO <sub>2</sub> /百万個)	2.065 t CO <sub>2</sub> /百万個)	1.187 t CO <sub>2</sub> /百万個)

(該当事業者のみ記入)

ベンチマーク指標の状況	対象事業の名称	ベンチマーク指標	関連数値(平成 30 年度)	達成率等

【削減状況の自己評価】

総排出量については前年度比では、12.7%減少し、基準年度比では、19.6%減少となり、削減傾向にある。しかしながら、原単位の分母となる生産数量が基準年度比で、51.4%減少、前年度比、10.0%の減少となったため、30年度の削減実績(原単位基準)は、基準年度比65.3%増加となり、前年度比では、3.0%の減少となった。

原単位評価の増加については、生産量の減少が大きく影響している。ただし、照明設備のLED化やデマンド警報装置の導入による節電の効果が出ており、電力使用による二酸化炭素の排出量は基準年度に比べ、約8割程度まで減少している。

**【推進体制】**

- ・工場のQMS推進組織とISO14001環境事務局を中心とした省エネ推進活動
- ・環境保護推進委員会の定期的な開催

**【目標削減率達成のために実施した措置及び今後の取組】**

工場等の名称	実施した措置及び今後の取組の内容
	<p>(30年度実施分)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・QMSに基づく工程不良改善による、効率的な生産計画を推進している。</li> <li>・空気圧縮機（37kW）2台を更新した。</li> <li>・2019年3月までに、234本の蛍光灯（110W）をLED照明に更新した。</li> </ul> <p>※年間の電力量として、約112,741(kWh)、二酸化炭素排出量の削減として75.4(kg-CO2/年)の削減を見込んでいる。</p> <p>(今後の実施予定分)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・エアコンの運転の効率化及び一部更新</li> <li>・社用車のハイブリッド車への更新</li> <li>・機器のレイアウト変更など効率的な稼働計画を組む</li> <li>・QMSに基づく工程不良改善による、効率的な生産計画の推進。</li> </ul>

**【森林保全等吸収源対策への取組】**

県内での取組	無	
その他	無	

**【再生可能エネルギーの導入】**

県内での取組	無	
その他	無	

**【その他特記事項】**

--